

令和4年度版

# 連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

(分野別)

油木高校魅力化プロジェクト 編



中高次世代議会  
(令和4年12月26日)



神石高原町教育委員会

## 目 次

### I. 油木高校魅力化+プロジェクト 編

	ページ
1. 油木高校魅力化+プロジェクトに係る直接的設問について ……	1 ~ 7
2. 油木高校魅力アップに係る町の支援について ……………	8 ~ 13
3. 油木高校魅力アップ事業に係る総合的な成果指標について ……	14 ~ 21

※ アンケート実施期間：令和 5 年 1 月 13 日 ~ 27 日

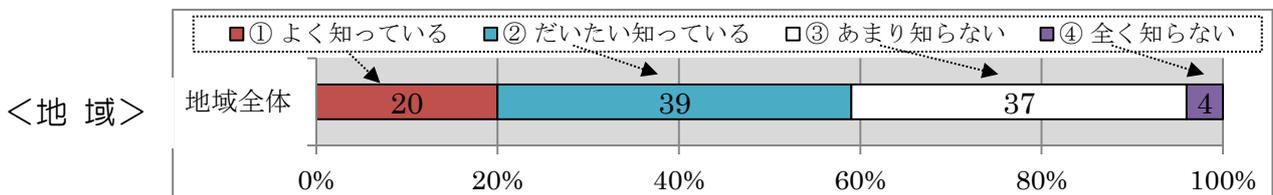
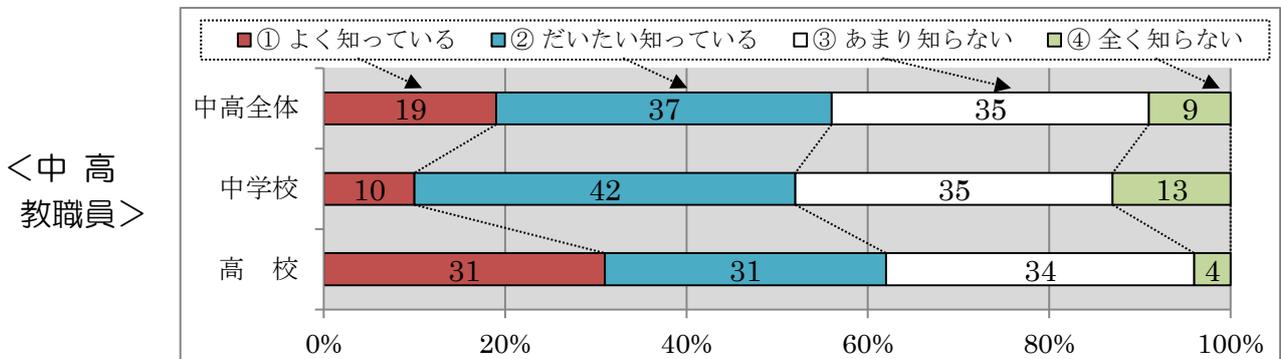
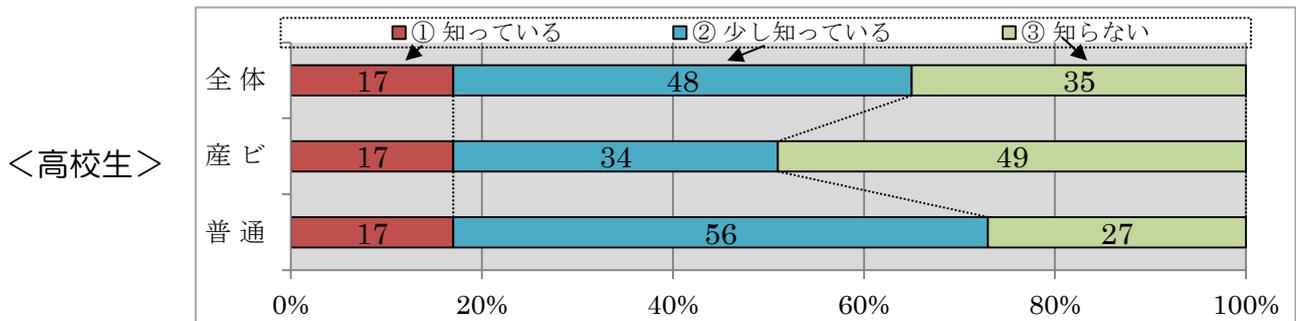
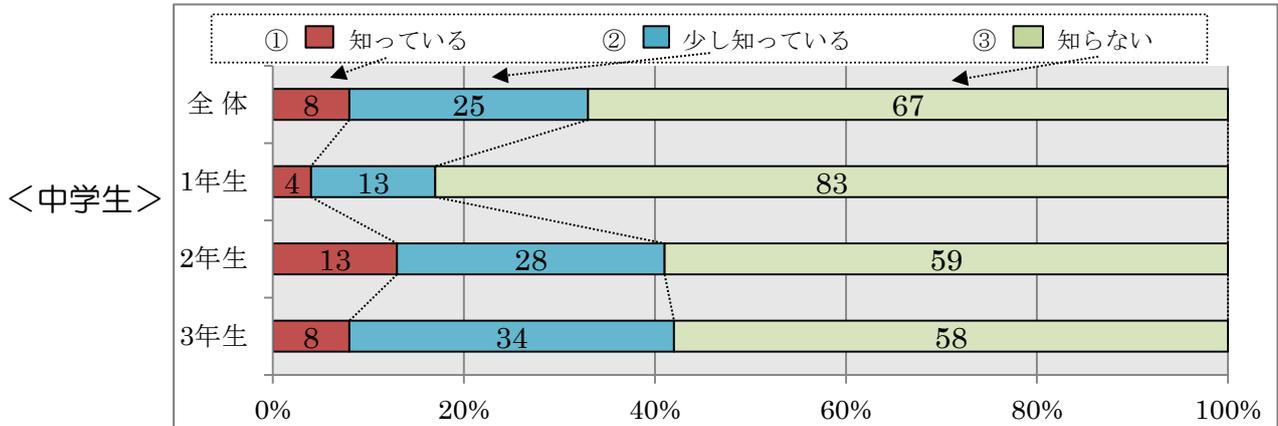
### 回 答 者 数

1. 中 学 生	回答者数 <u>153人</u> / 在籍者数	163人
2. 高 校 生	回答者数 <u>144人</u> / 在籍者数	167人
3. 中・高教職員	回答者数 <u>56人</u> / 全教職員数	56人
4. 小学校保護者	回答者数 <u>134人</u> / 対象児童数	163人
5. 中学校保護者	回答者数 <u>136人</u> / 生徒総数	163人
6. 地 域	回答者数 <u>81人</u> / 質問者数	101人

# 1. 「油木高校魅力化+プロジェクト」に係る 直接的設問 について

## < 「油木高校魅力化+プロジェクト」の認知度・期待感について >

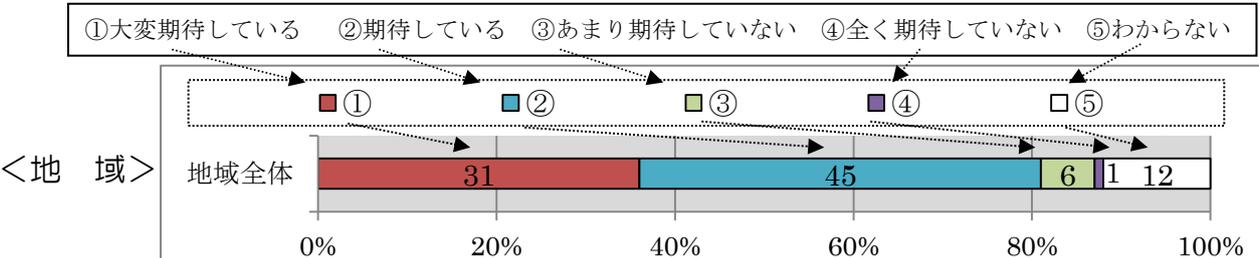
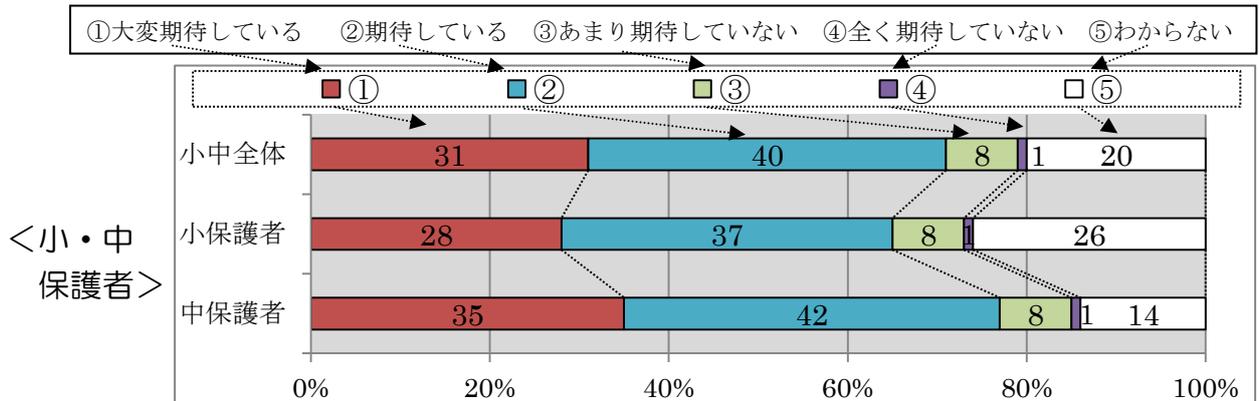
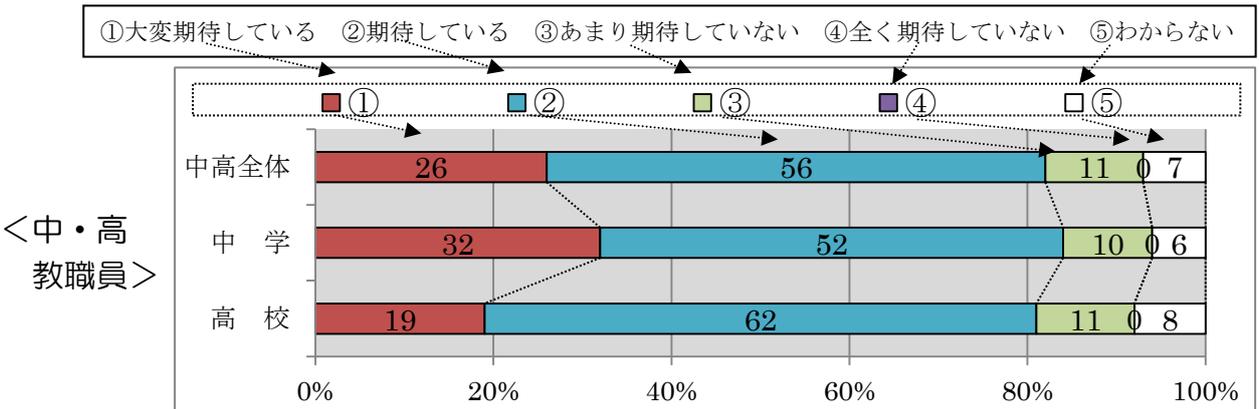
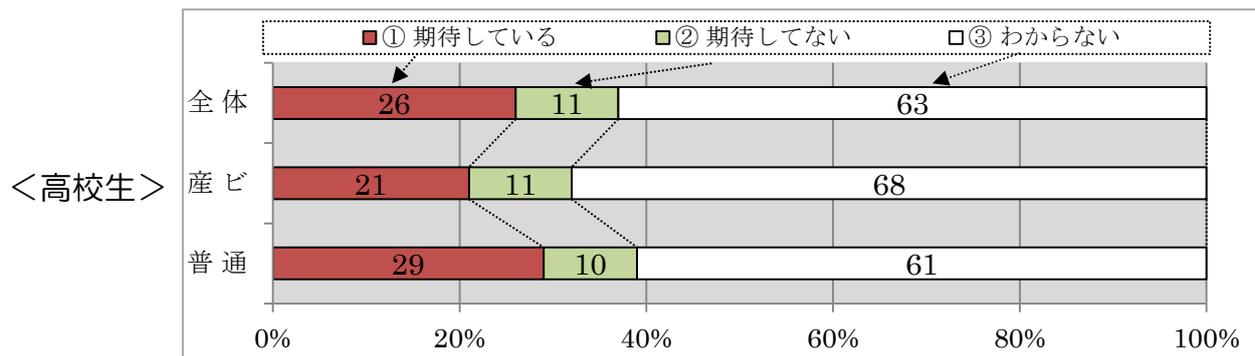
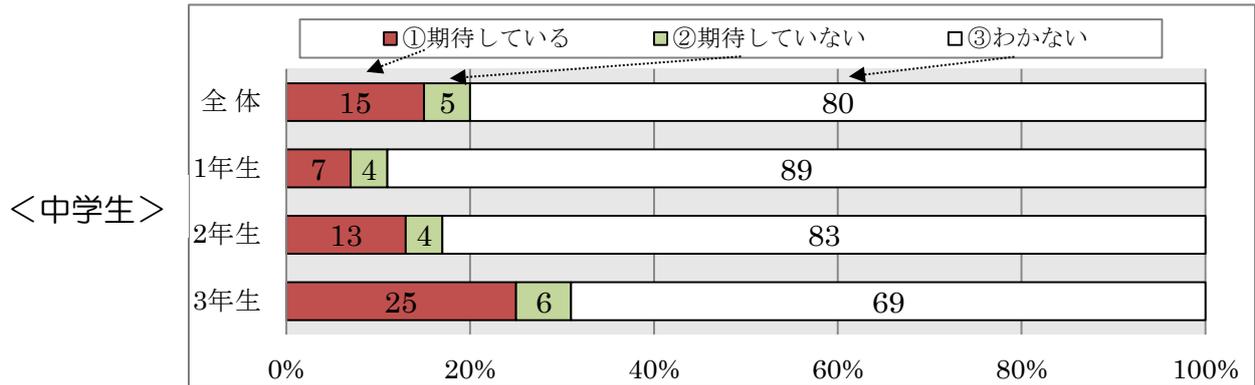
問 (1) 神石高原町では油木高校のさらなる魅力づくりを創出するために、「油木高校魅力化+(プラス)プロジェクト」に取り組んでおり、その具体策(「総合的な探究の時間」の学習内容と指導法の開発、放課後「神ゼミ」など)を実施していますが、その「油木高校魅力化+プロジェクト」のことを知っていますか。



考察 ・ 認知度は前年と比較してほぼ同程度(中学校 43%→33%, 高校 64%→65%, 教職員 64%→64%, 地域 59%→52%)で、その中で高校生と中高教職員(65%・64%)が最も高い数値であった。

・ 油木高校ホームページの「高校魅力化+プロジェクト」コーナーの更新は「神ゼミにゆうす」ぐらいで、その他の新情報の更新が不足していた。本年度、油木高校の「総合的な探究の時間」の取組状況を見える化できないか、学校側とも相談しながら検討してきたが、色んな課題(人・時間・経費・共通理解)があり、今後も継続検討していく必要がある。

問 (2) 「油木高校魅力化+(ﾌﾟﾗｽ)ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」に期待感をもっていますか。



**考察** ・「大変期待している・期待している」の肯定的回答としては、中高教職員の82%（昨年90%）が最も高く、地域の76%（昨年88%）、小中保護者の71%（昨年76%）で非常に高い肯定的評価で期待度が伺える。

・**反対に**「期待していない・あまり期待していない」の否定的回答で多いのは、高校生と高校教職員の11%で、少数ではあるが直接的に関わっている者の評価が一番低いのは大きな課題であり検討してみる必要がある。

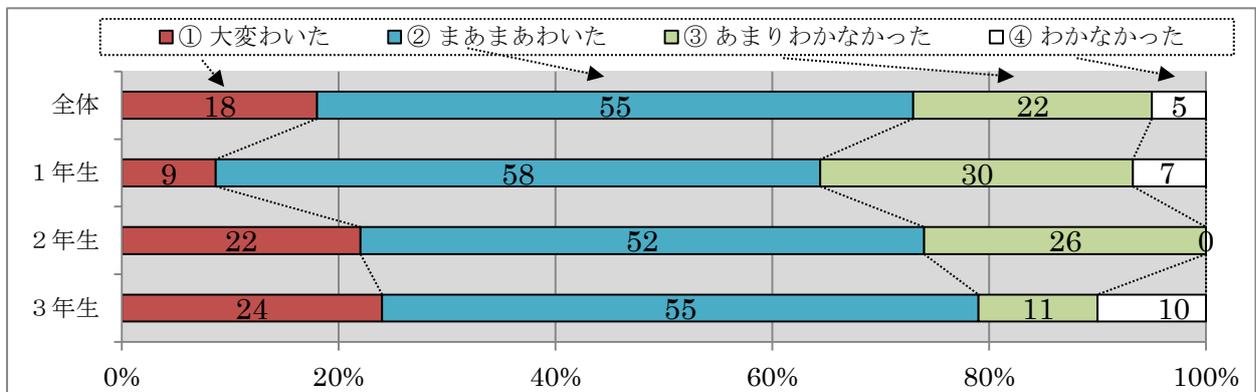
・「わからない」とする者が、中学生、高校生に非常に多く、60%～80%以上が「わからない」と回答しており、まだまだ情報提供が不足している。このことも今後の課題として取り組んでいく必要がある。

<油木高校「総合的な探究の時間」に係ることについて>

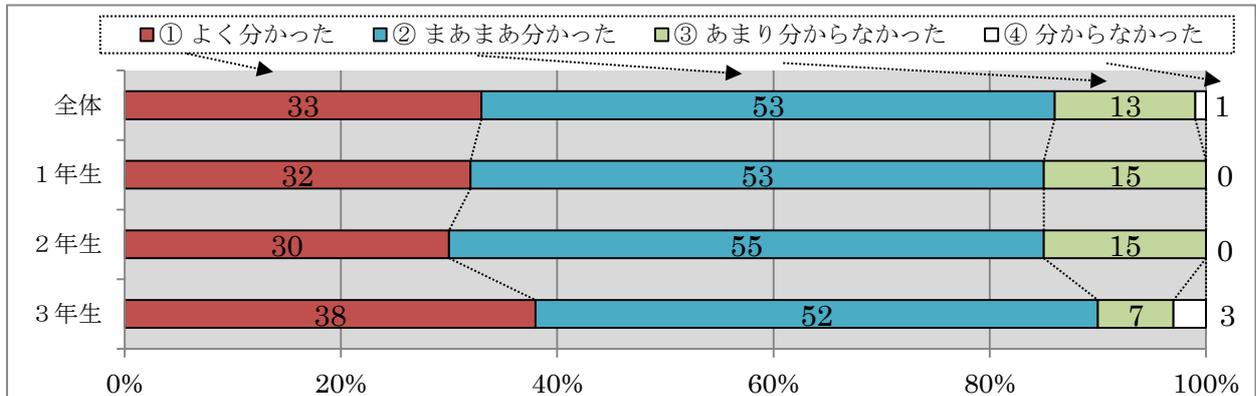
<高校生> 普通科 全学年に本年度の「総合的な探究の時間」のことについて質問します。

\* 普通科生の1～3年生のみ答えてください。

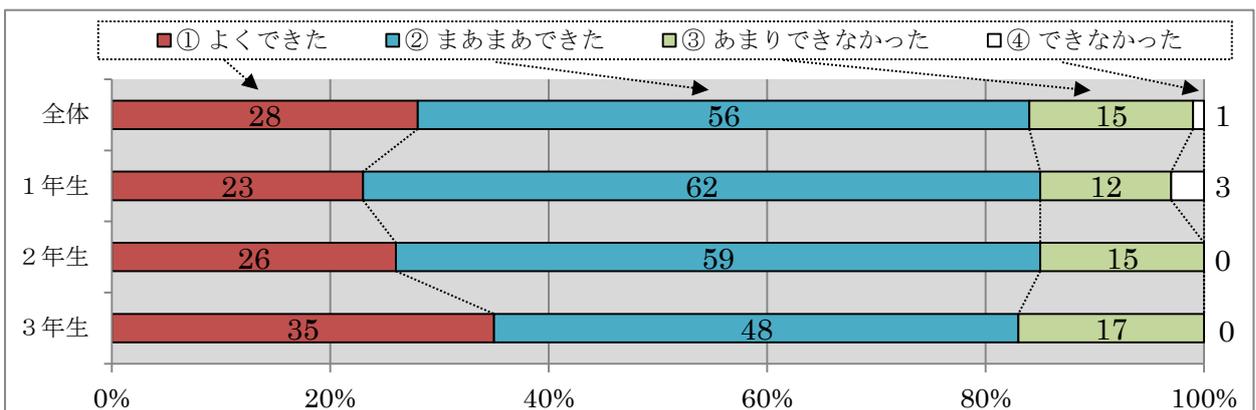
問(1) 学習内容について興味や学習意欲がわきましたか。(興味・関心・意欲)



問(2) 授業内容は分かりましたか。(理解度)



問(3) 授業では積極的に学習活動ができましたか。(態度・活動面)



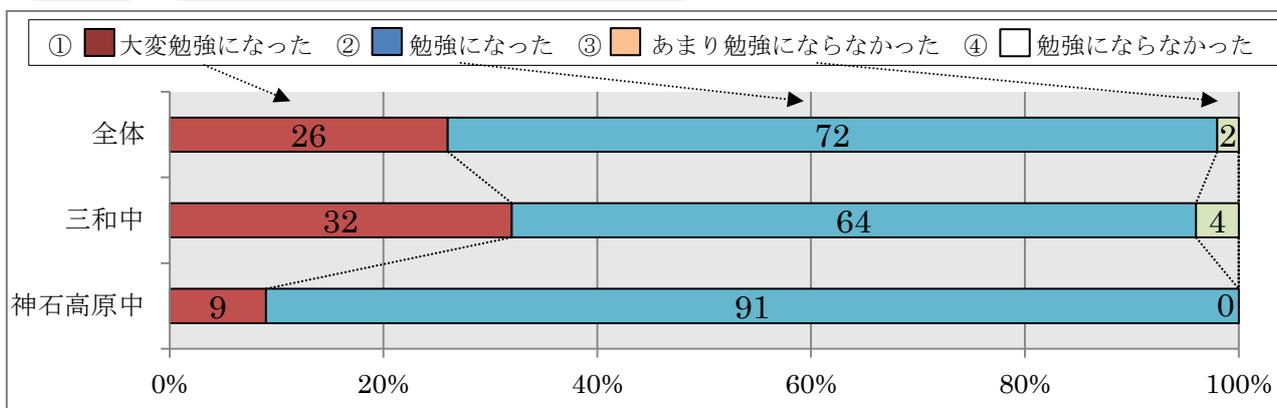
**考察** ・どの項目も70%以上の高い肯定的自己評価をしている。そして、3年生がどの項目も「よくできた」と回答した生徒が一番多かった。

・このように生徒自身が高い評価をしているのは、各学年の総合担当の先生やキャリア教育コーディネーター(元地域興し協力隊員)のこれまでの経験知からの指導や(株)プリマペンギノの適切なアドバイスのお陰であると感じている。

<油木高校の学習成果発表会についてどう思いましたか？>

<中学生>

**問** 本年度12月15日に油木高校が実施された「総合的な探究の時間」等の学習成果発表会(主に高校3年生)に参加した生徒で、高校生の発表を聞いてどのように感じましたか。



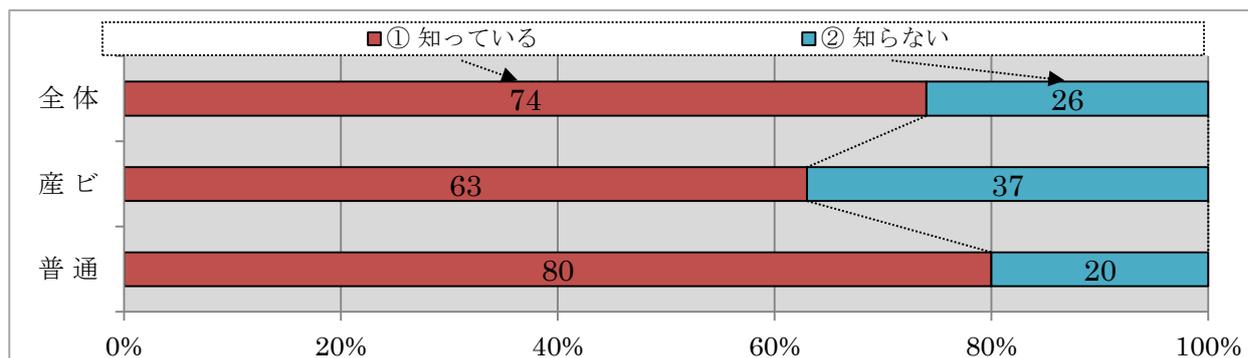
**考察** ・ほとんどの生徒が「大変勉強になった・勉強になった」との肯定的評価(98%)をしているが、「大変勉強になった」率はあまり高くはなかった。

・参加した中学生にとっては、今後の学習に役立つものと思われる。そして、油木高校の普通科そして産業ビジネス科の学習内容も少しは理解できたのではないかとと思われる。

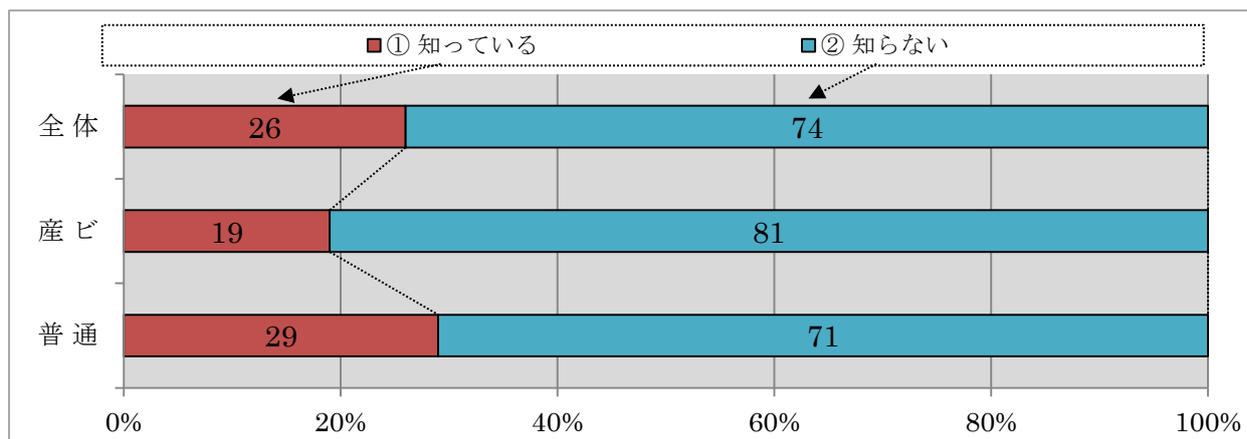
・「総合的な学習(探究)の時間」は中高連携教育の軸となっているので、小学校を含めた小・中・高が共に研究しながら、今後一層中身の充実を図っていく必要がある。本年度の町研総合部会では、小・中・高の12年間を視野に入れたカリキュラム作りについて(株)プリマペンギノにご指導いただきながら研修することができた。

<放課後「神ゼミ」について>

<高校生> **問** (1) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)が実施されていることを知っていますか。



問(2) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)では、どんなことをしているか知っていますか。



問(3) 本年度、放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講したことがありますか。 ※( )内は昨年度の人数

	産業ビジネス科	普通科	総計
	(受講したことがある)	(受講したことがある)	(受講したことがある)
1年生	0人 (2人)	1人 (3人)	1人 (5人)
2年生	3人 (2人)	4人 (2人)	7人 (4人)
3年生	0人 (6人)	1人 (3人)	1人 (9人)
計	3人 (10人)	6人 (8人)	9人 (18人)

問(4) 放課後「神ゼミ」(伊藤・青木)を受講した人は、どんな感想をもちましたか。

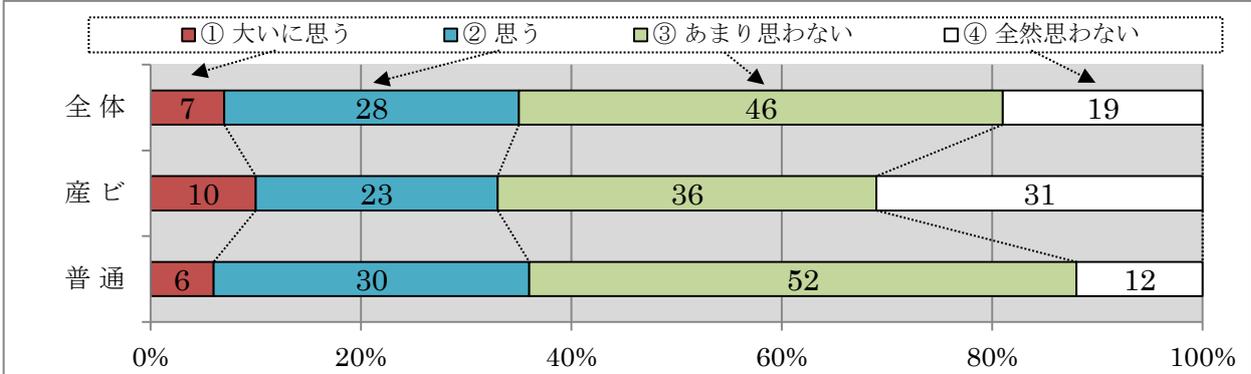
	① 大変勉強になる		② 勉強になる		③ あまり勉強にならない		④ 勉強にならない	
	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通	産ビ	普通
1年生	0	1	0	0	1	0	1	0
2年生	1	0	1	2	0	0	0	1
3年生	0	1	0	0	0	0	0	0
計	1人	2人	1人	2人	1人	0人	1人	1人

考察 ・放課後「神ゼミ」に係る上記質問の回答は、前年とほぼ同じくらいやや低下している。このような状況の中で、指導者は受講生を増やそうと生徒に声かけなり仕掛けをしながら取り組んで頂いている。取組の様子は毎月発行されている「神ゼミにゆうす」に掲載し、高校生・町内中学生などに配布すると共に油木高校ホームページ(魅力化プロジェクト：神ゼミ)にも掲載されている。

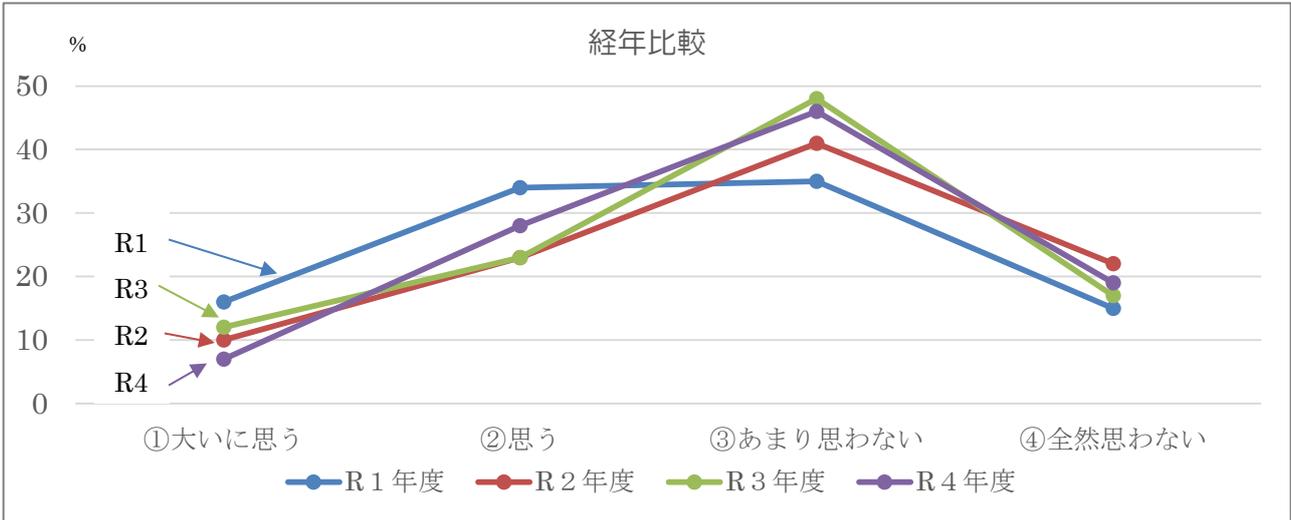
・放課後「神ゼミ」は、「油木高校魅力化+プロジェクト」の目玉の一つでもあるので、今後も受講生が増える取組なり策を講じていく必要がある。そして、中身も充実したものになるよう、実績のある(株)プリマペンギーノの指導や支援を今後もお願いしていきたい。

＜「総合的な探究の時間」で「地域」をテーマに学習しての効用はどうか？＞

＜高校生＞ 問 (1) あなたは、将来、神石高原町に住んでみたいと思いますか。(＊ 町外生徒 65名の35%)



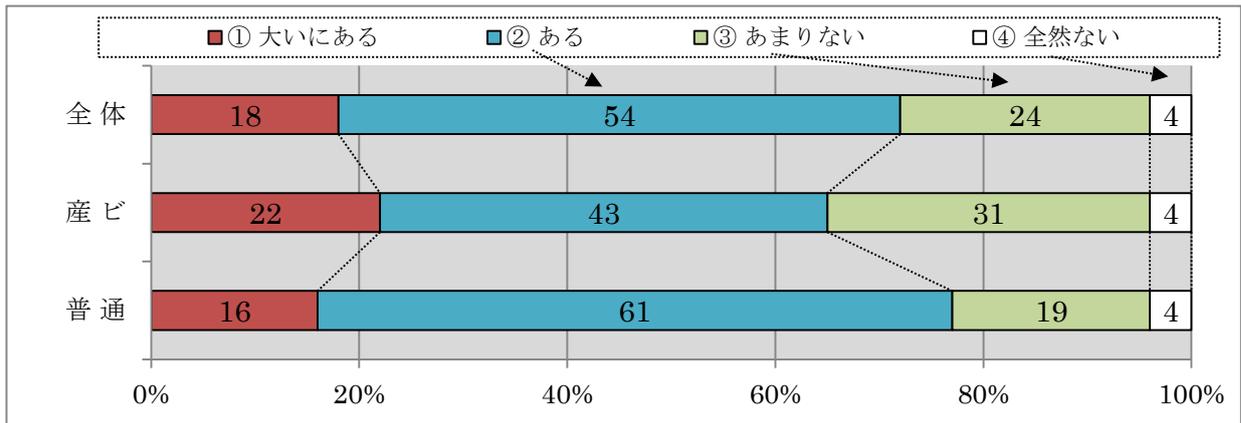
	普通科 (人)				産業ビジネス科 (人)				全体
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いに思う	1	1	3	5 (6%)	1	2	2	5 (10%)	10 (7%)
② 思う	9	9	9	27 (30%)	4	5	3	12 (23%)	39 (28%)
③ あまり思わない	19	15	13	47 (52%)	8	3	8	19 (36%)	66 (46%)
④ 全然思わない	5	2	4	11 (12%)	5	6	5	16 (31%)	27 (19%)
小計	34	27	29	90	18	16	18	52	142



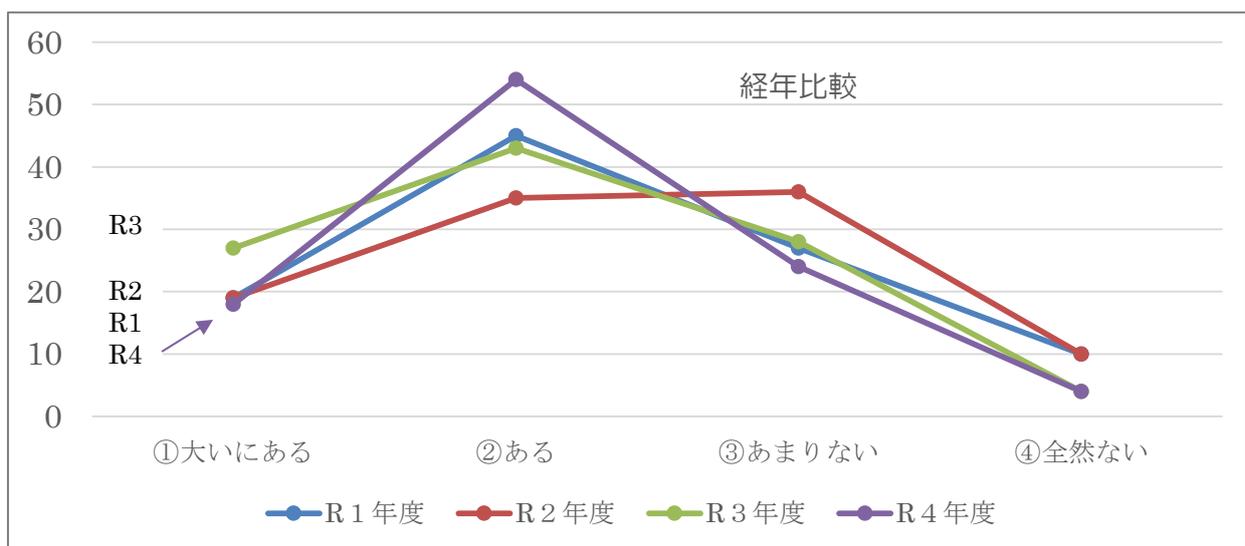
**考察** ・全体では、①「大いに思う」が7% (昨年12%) と約1割、人数では10人 (昨年18人) である。そして、「思う」は28% (昨年23%) で、肯定的回答は約1/3である。一方、「あまり思わない・全然思わない」の否定的回答は65%で、約2/3を占めている。この数値は前年とあまり大差はない。

- ・学科別においても、「大いに思う・思う」は両科ともほぼ同率であるが、否定的回答の「全然思わない」(普:12%、産ビ:31%) と倍半違うのは、産ビ科生の約6割が町外生であることが影響しているものと考えられる。
- ・4年間 (R1→R4) の経年比較では、まだ顕著な違いは見られない。だいたい同傾向にある。

<高校生> 問 (2) あなたは、自分の地元貢献したいという気持ちがありますか。



	産業ビジネス科 (人)				普通科 (人)				総計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
① 大いにある	3 17%	4 27%	4 22%	11 (22%)	5 15%	6 23%	3 10%	14 (16%)	25 (18%)
② ある	11 61%	5 33%	6 33%	22 (43%)	23 68%	13 50%	18 62%	54 (61%)	76 (54%)
③ あまりない	3 17%	5 33%	8 44%	16 (31%)	6 17%	5 19%	6 21%	17 (19%)	33 (24%)
⑤ 全然ない	1 5%	1 7%	0 0%	2 (4%)	0 0%	2 8%	2 7%	4 (4%)	6 (4%)
小計	18	15	18	51	34	26	29	89	140



**考察** ・全体では、地域貢献意欲が「大いにある・ある」を含めた肯定的回答が72%（昨年69%、一昨年54%）で2/3以上と、年々増加しているのはうれしいことである。

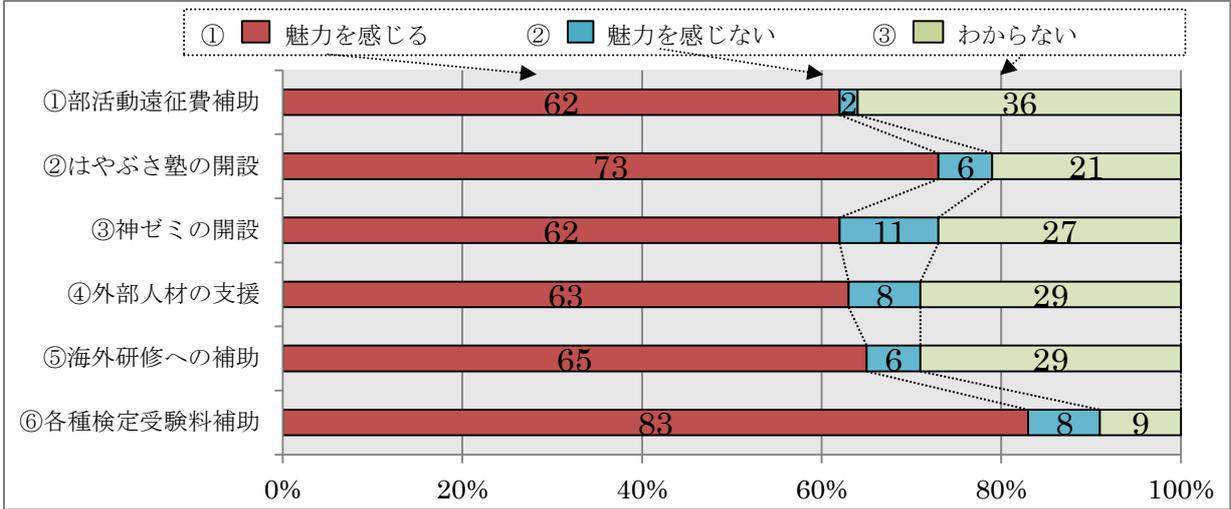
- ・学科別では、地域貢献意欲が「ある・なし」の割合では、やや普通科の肯定的回答率が高い。
- ・学科別&学年別では、肯定的回答が70%以上は、産ビ科1クラス、普通科3クラスであった。
- ・経年比較では、多少の数値に差はあるものの概して同傾向といえる。

## 2. 油木高校魅力アップに係る 町の支援 について

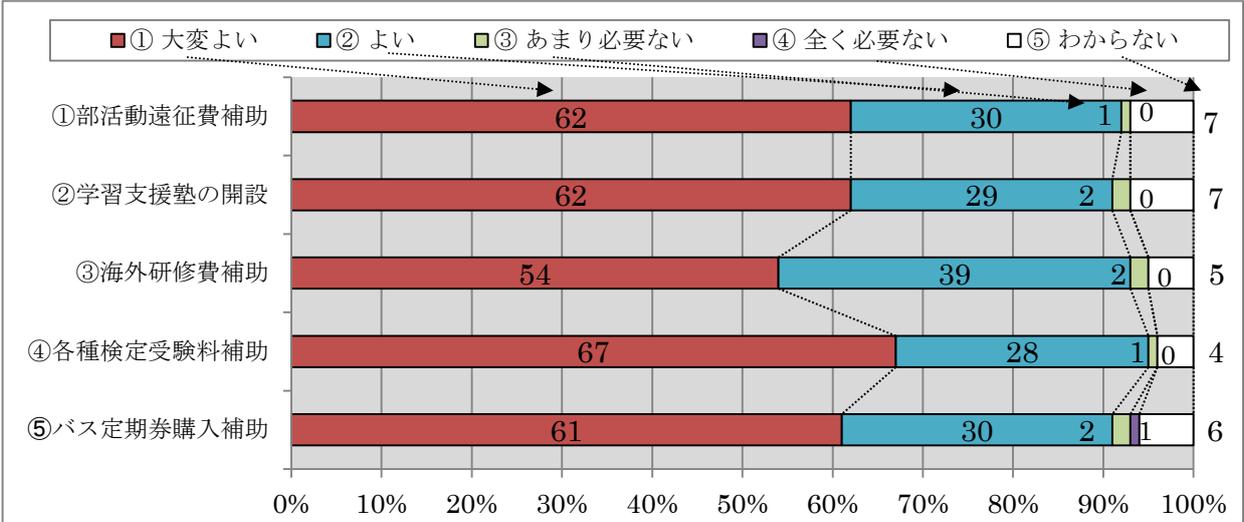
＜「町の支援」についてどう思いますか？＞

問 本町が油木高校生に様々な教育支援を実施していますが、それらについてどう思いますか。

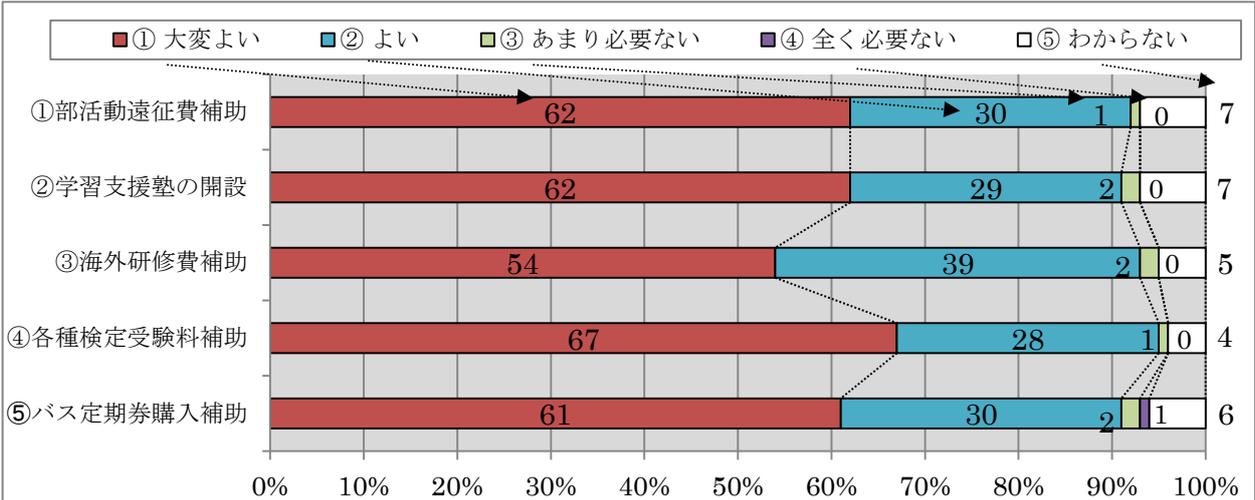
＜中学生＞ 下グラフは、内容をよく知っている中学3年生のもの



＜小・中保護者＞



＜地域＞



**考察**・中学3年生&保護者対象に毎年「油木高校生へ町からの支援」について説明させて頂いており、本年度も各項目とも「大変よい・よい」の肯定的回答が60%以上と高い評価を受けている。

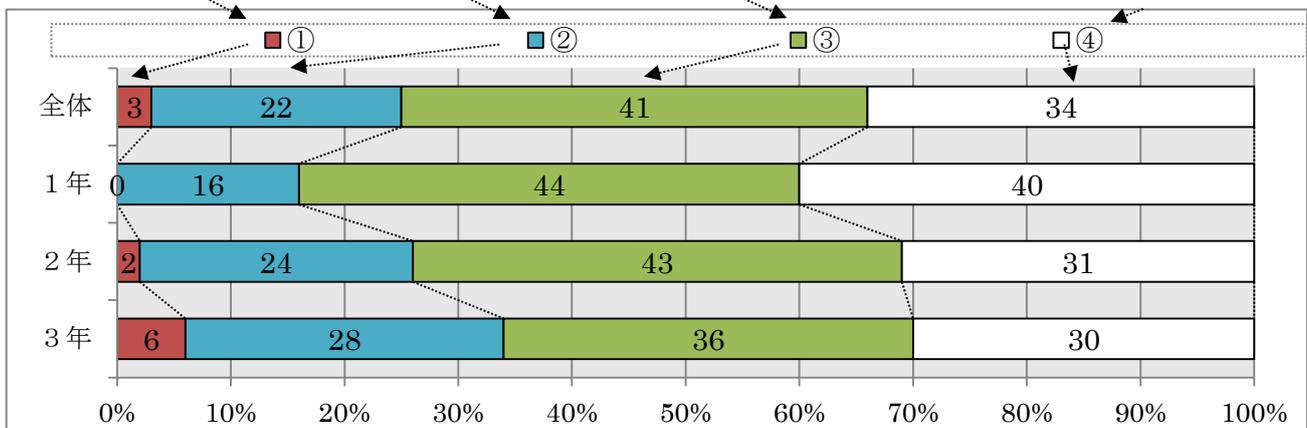
- ・ 小、中保護者においても、全項目とも「大変良い・よい」の肯定的回答が90%以上と非常に高い評価である。
- ・ 地域においても、保護者同様に全項目ともに肯定的回答が90%以上と非常に高い評価である。
- ・ このように多くの項目において地域、保護者の期待度の高いことがわかる。油木高校への進路選択の理由に「町の補助がある」項を上げておられる保護者も多い。(18 ページ参照) それだけに、今後とも支援制度の維持や中身の充実を図りながら、更なる油木高校の魅力づくりに繋げていく必要がある。

## <高校生>

**問** 本町では、油木高校の教育充実のために色々な支援を行っていますが、そのことについて次の質問に答えてください。

(1) 本町では本年度「油木高校生への8つの支援」を実施していますが、その内容について知っていますか。

① ■ 6以上は知っている    ② ■ 4～5は知っている    ③ ■ 2～3ぐらいは知っている    ④  ほとんど知らない

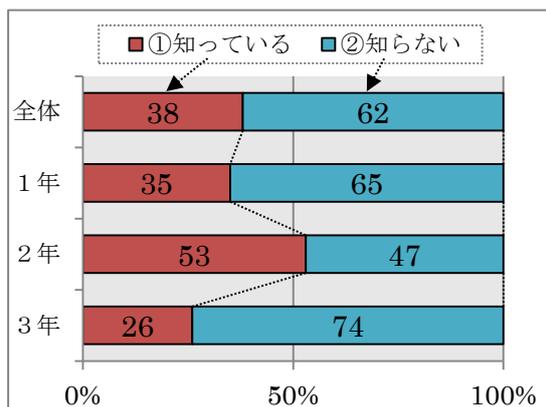


**考察** 「6以上は知っている」が全体で3%（昨年6%）と認知度が非常に低い。中でも「ほとんど知らない」が34%（昨年30%）で、毎年度新しいリーフレットを生徒並びに教職員へ配布しお知らせしているが、今後一層の周知活動に努めながら、油木高校の魅力をアピールしていく必要がある。 なお、学校におかれても機会を捉えて生徒や保護者の方に紹介をよろしくお願いします。

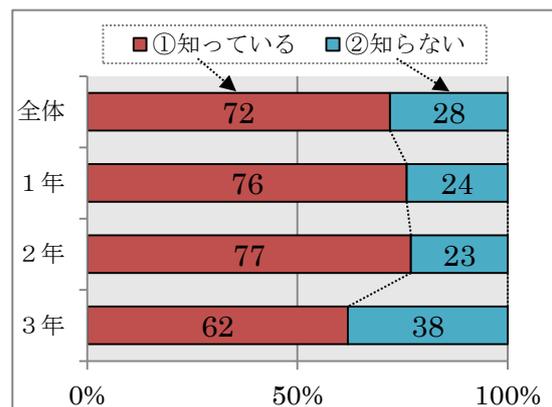
## <「はやぶさ塾」について>

(2) **Q1** 「はやぶさ塾」では、どんな方法で何の学習をしているのか知っていますか。

### < 産業ビジネス科 >



### < 普通科 >



Q2 本年度、「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください。→ あなたの受講状況を教えてください。

	前期・後期とも受講				前期だけ受講				後期だけ受講			
	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)	1年	2年	3年	計(人)
産比科	1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0
普通科	5	2	1	8	11	2	2	15	0	0	0	0
計	6	2	1	9	12	3	2	17	0	0	0	0

Q3 「はやぶさ塾」に参加した人だけ教えてください → 参加してみたの感想はいかがですか。



① 大満足      ② 満足      ③ 普通      ④ やや不満      ⑤ 不満

	普通科 (1・2・3年)	産比科 (1・2・3年)	計 (%)	理由
①	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)	
②	8人 (5・1・2人)	1人 (1・0・0人)	9人 (22%)	(普)・分からない所は丁寧に教えてもらえる ・プリント学習で自分の学習状況を理解しながら進められる ・1年の時に参加して勉強時間が充実していて、とても良かったと思う
③	25人 (10・10・5人)	4人 (2・2・0人)	29人 (71%)	(普)・とても集中できる(2) ・分からない問題を考えてもらえる ・家でやることと変わらない ・学習時間を確保できるという意味では凄いいと思う
④	3人 (0・2・1人)	0人 (0・0・0人)	3人 (7%)	(普)・ただプリントをやるだけで授業をするようなものではなかったから ・自習室みたい
⑤	0人 (0・0・0人)	0人 (0・0・0人)	0人 (0%)	

考察 ・はやぶさ塾での指導方法や内容に係る周知度は学科によってかなりの差があるが、一昨年から年度初めの1年生オリエンテーションで塾長さんの方から中身についての説明を頂いたり、町内中学3年生は全身体験塾を2回 本校で実施しているので、町内生徒の周知度は高いと思われる。

・4年前から指導教科や時間帯を増やしているが、受講者数は26名(昨年:29名)で、そのうち通年者は9名(昨年:10名)と、減少している部分もあり、改善策を塾側や学校と協議しながら取り組んでいく。

・7月~3月までは、前半(16:00~18:00)・後半(18:30~20:30)の2部制で実施しているが、両方(4時間)とも受講している生徒は、極まれで(月平均1~2人)であるが、バス通学生にとっては好評のようである。

・受講者の評価としては、「大満足・満足」との肯定的評価は22%(昨年:41%)と例年よりもかなり低い評価である。やはり受講者が満足感をもって、できるだけ多くの生徒が受講するよう、塾側や学校と十分検討した上で、今後の取組を進めていきたい。(検討会議 R5年2月1日に実施して新年度からの改善策を決定している。)

※1, 2年生のみ答えてください。

Q4 来年度、「はやぶさ塾」に参加しますか。

① 参加したい ② 参加したくない ③ わからない

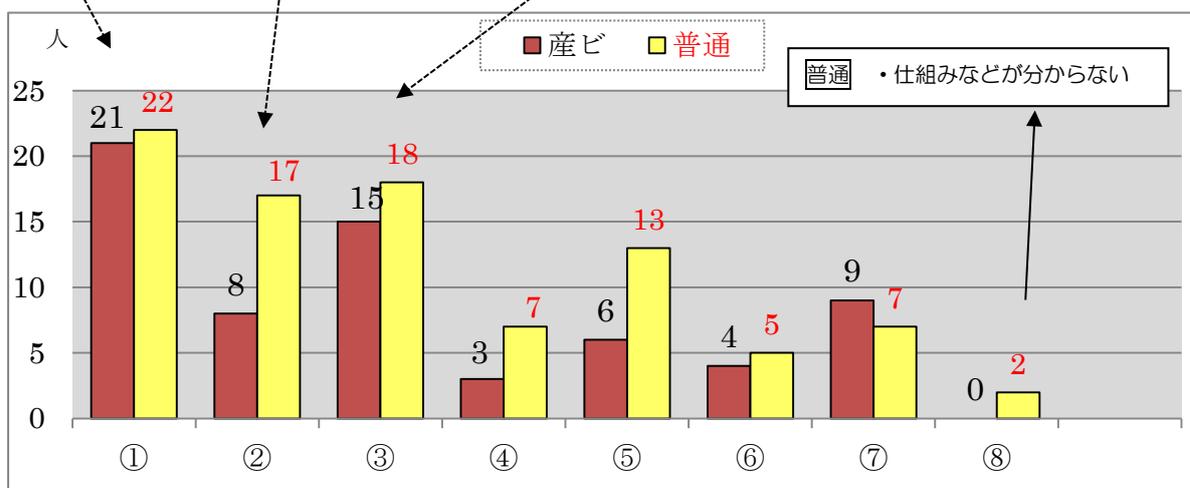
	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 参加したい	3人	2人	5人 (8%)	1人	0人	1人 (3%)	6人 (7%)
② 参加したくない	11人	16人	27人 (44%)	12人	6人	18人 (56%)	45人 (48%)
③ わからない	20人	9人	29人 (48%)	4人	9人	13人 (41%)	42人 (45%)

考察 現時点での「受講希望者」は、6人（昨年：15人）とかなり少ない。しかし、4月から学校側の協力も頂きながら新しい取り組みで実施されるので、その推移を見ていく必要がある。新しい取組とは、指導者が2人態勢なので、それを有効に活用したコース制（フリーコース、4大コース）を導入していく予定である。

※ 「はやぶさ塾」に参加していない人だけ答えてください。

Q5 「はやぶさ塾」に参加していない理由は何ですか。下の①～⑧の中で当てはまるものをすべて選んでください

- ① 必要性を感じない ② 部活動の後は学習意欲がわかない ③ 20時30分終了だと帰宅手段（バス・迎え）がない ④ 塾の勉強の仕方が自分に合わない ⑤ 自分一人で勉強したい ⑥ 塾に行く時間がない ⑦ 受講料が高い（半期：1万円） ⑧ その他



考察 産ビ科・普通科共に「参加していない理由」の多くは①「必要性を感じない」、②「部活動の後は学習意欲がわかない」、③「帰宅手段がない」、⑤「自分一人で勉強したい」、といったもので、例年とあまり差異はない。

<各種検定受験料の補助について>

(3) 本町では油木高校生に対して各種検定受験料の補助(合格者のみ)をしていますが、本年度(但し、令和4年2月～令和5年1月の期間)、これらの制度を利用したことがありますか。

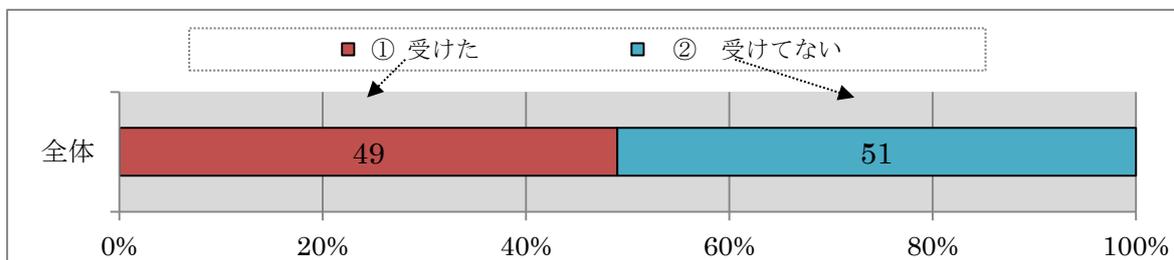
	普通科				産業ビジネス科				総計 (人)
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	3年	小計	
英語検定	2	11	5	18	0	0	1	1	19
漢字検定	2	4	6	12	0	2	1	3	15
数学検定	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型車両系建設機械(整地等) 小型フォークリフト特別教育講座	0	0	5	5	0	6	14	20	25

**考察** ・科ごとに利用者数の違いはあるが、本年度も両学科共に英検・漢検・小型車両系建設機械・小型フォークリフト特別講習の利用者があった。しかし、数学検定の利用者は両学科ともになかった。

<町外生徒のバス定期券購入補助について>

(4) 町外からバス通学している生徒で、本年度「定期券購入費の50%補助」を受けましたか。

(本年度の町外生徒は 65名 → 内 32名が受けている)



<本年度入寮者の概要>

\* ( ) 内数は町内生徒数

	男子 (最大収容人数: 31人)			女子 (最大収容人数: 12人)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
人数	9人(0)	6人(0)	8人(0)	5人(1)	0人(0)	2人(1)
計	23人(0)			7人(2)		

**考察** ・補助利用者は32人(49%)で、利用していない町外生は33人(51%)である。非利用者の多くは寮生(寮の町外人数: 28人)のようなので、寮生を除いた利用率は約86%で、かなり高い利用率である。この制度は町外の関係者から歓迎されており、油木高校の大きな魅力の一つではある。ただ、R5年4月からバス運賃が値上がりするため、特に小・中学校保護者アンケートの回答の中に、かなり不安視しておられる方が数名あった。

<長期・短期の海外研修について>

(5) 次の質問については、1, 2年生のみ答えてください。

Q1 来年度、オーストラリア海外研修への参加希望がありますか。

① 希望あり    ② 希望なし    ③ わからない

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2) (%)
	① 1年生	② 2年生	①+② (%)	③ 1年生	④ 2年生	③+④ (%)	
① 希望あり	6人	6人	12人 (20%)	0人	1人	1人 (3%)	13人 (14%)
② 希望なし	12人	13人	25人 (41%)	11人	11人	22人 (63%)	47人 (49%)
③ わからない	16人	8人	24人 (39%)	7人	5人	12人 (34%)	36人 (37%)

Q2 「希望あり」と答えた生徒で、第一希望の研修期間はどちらですか。

① 短期 (2週間)    ② 長期 (10週間)

	(1) 普通科			(2) 産業ビジネス科			合 計 (1)+(2)
	① 1年生	② 2年生	①+②	③ 1年生	④ 2年生	③+④	
① 短 期	6人	4人	10人	0人	0人	0人	10人
② 長 期	0人	2人	2人	0人	1人	1人	3人

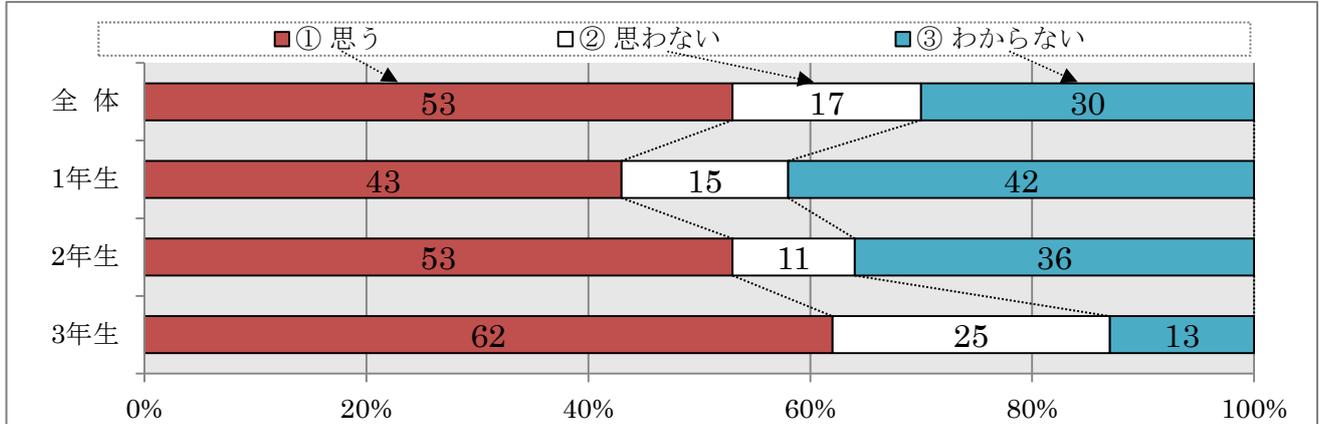
**考察** ・現段階で「参加希望有り」と回答した生徒は、13名 (昨年22名) で、その中で短期が10名、長期が3名と回答している。いずれにせよ、定員数 (長期: 1名, 短期: 5~6名) よりオーバーしており、今後増える可能性もある。ただ、ここ3年間コロナの影響で実施できていないが、来年度については今のところ実施予定で進められている。

### 3. 油木高校魅力アップ事業に係る総合的な成果指標 について

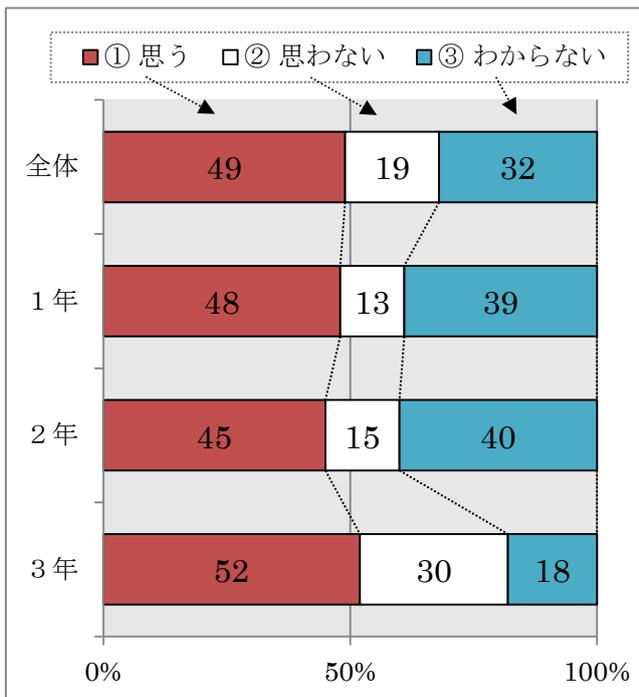
#### <中学生>

問 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

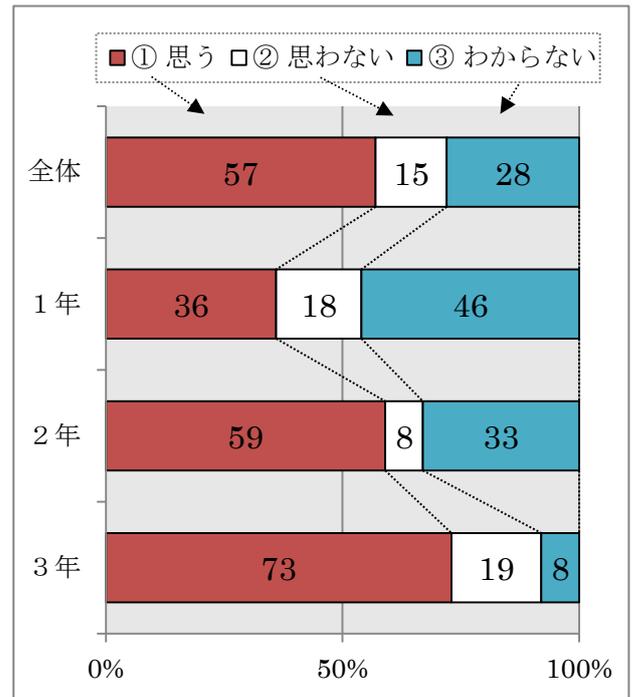
< 2校全体では >



#### <三和中>



#### <神石高原中>



**考察** ・2校全体では、油木高校へ進学したいと「思う」は53%（前年55%、前々年46%）で、昨年に引き続き50%以上である。今後生徒数が減少傾向にあるだけに50%以上を確保していく必要がある。

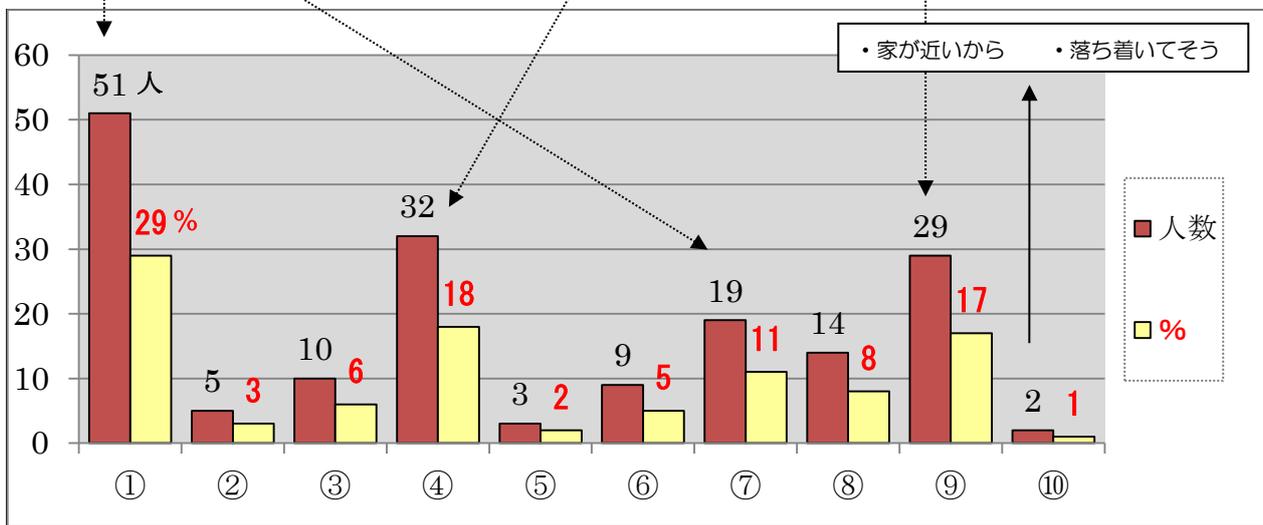
・全体の学年別でも、3年生の「思う」が62%で一番高く（R3年66%、R2年61%、R1年61%）、一つの目標数値である60%以上をクリアが続いている。また、経年比較では（昨年度の1年生49%→本年度の2年生53%、昨年度の2年生48%→本年度の3年生62%）というように年々増加傾向になっていました。これは、学校現場の取り組みと地域あげでの取り組みの成果なり効果が伺われる。

・学校別においても、両校とも「油木高校に進学したいと思う」率は3年生が一番高く50%以上を占めている。このことは、連携型中高一貫教育校として維持していく為には大変重要なことで、今後もこの数値（50%以上で60%を目指す）はこだわっていく必要がある。

(2) 3(1)の質問で「①(油木高校へ進学したいと)思う」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。(複数回答可)

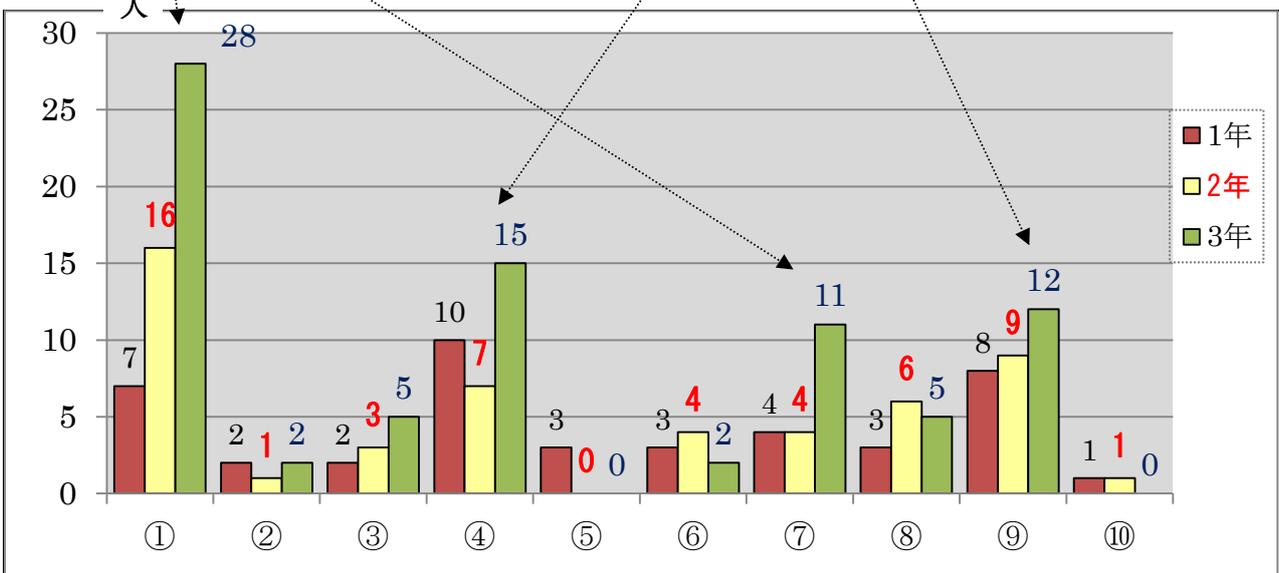
- ① 通学に便利    ② 進路実績    ③ 教育内容面    ④ クラブ活動面    ⑤ 寮がある    ⑥ 施設設備がよい  
 ⑦ 町の支援(公営塾、海外研修等)がある    ⑧ 親・家族の等の薦め    ⑨ 友人関係    ⑩ その他

< 2校全体では >



< 学年別の人数では >

- ① 通学に便利    ② 進路実績    ③ 教育内容面    ④ クラブ活動面    ⑤ 寮がある    ⑥ 施設設備がよい  
 ⑦ 町の支援(公営塾、海外研修等)がある    ⑧ 親・家族の薦め    ⑨ 友人関係    ⑩ その他



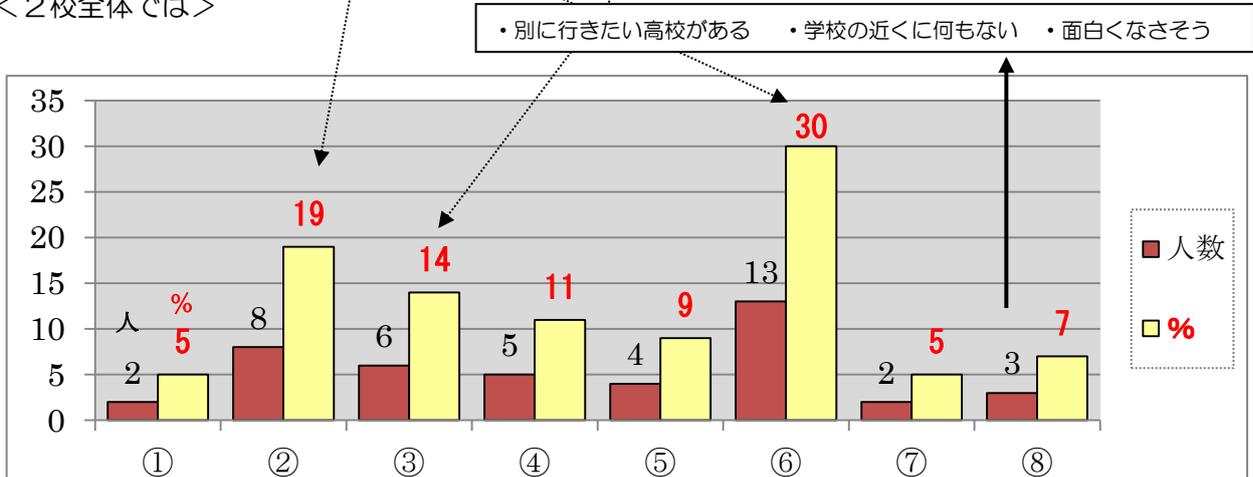
**考察** ・2校全体で多い順は、1位：① 通学に便利 (29%)、2位：④ クラブ活動 (18%)、3位：⑦ 友人関係 (17%)、4位：⑦ 町の支援 (11%) である。

・学年別で特徴的なものとしては、概してどの項目においても3年生が多く選んでおり、油木高校の良さを多く感じていることが伺える。これは、3年生が油木高校体験入学や学校説明会などを通して多方面にわたって油木高校の良さを感じているものと思われる。

(3) 3(1)の質問で「②(油木高校へ進学したいと) 思わない」と答えた人で、その理由と思うものを下の□の中から選んでください。(複数回答可)

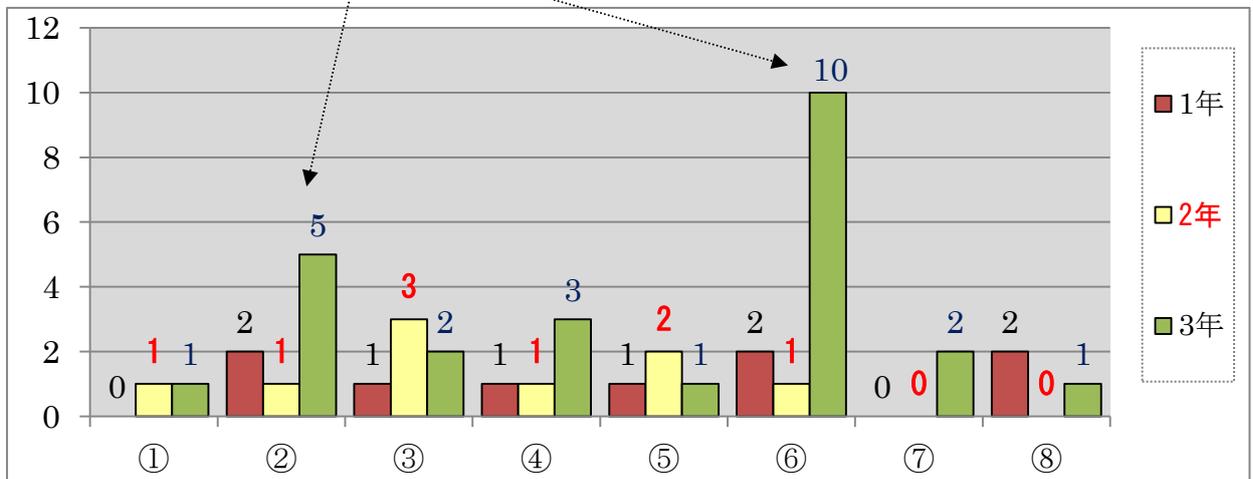
- |            |           |          |         |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便    | ② 教育内容面   | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係   | ⑧ その他   |

<2校全体では>



<学年別の人数では>

- |            |           |          |         |
|------------|-----------|----------|---------|
| ① 通学が不便    | ② 教育内容面   | ③ クラブ活動面 | ④ 施設設備面 |
| ⑤ 希望の学科がない | ⑥ 高卒後の進路面 | ⑦ 友人関係   | ⑧ その他   |



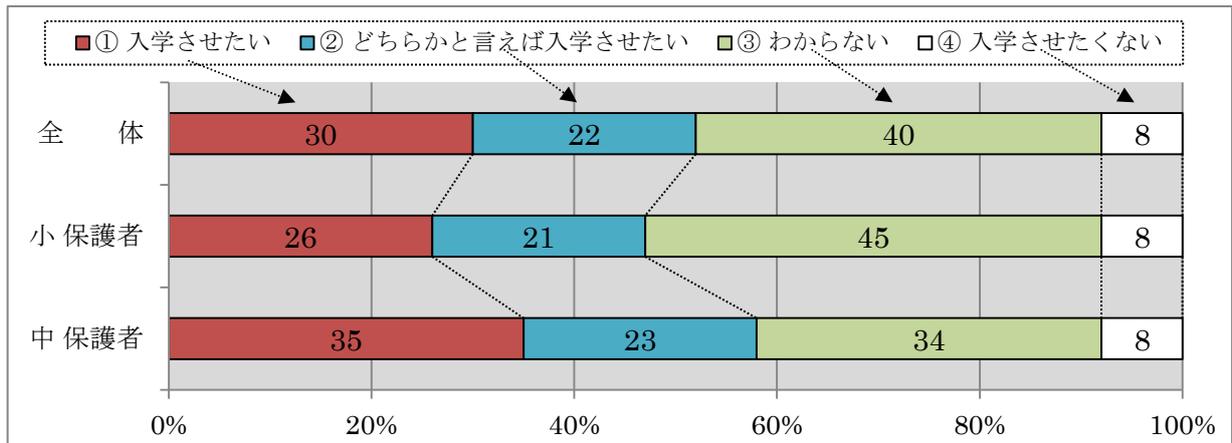
**考察** ・2校全体で多いのは、1位：⑥「高卒後の進路面」(30%)、2位：②「教育内容面」(19%) 3位：③「クラブ活動面」(14%)、となっており、例年とあまり差異はない。

・例年のごとく本年度も「(油木高校へ進学したいと) 思わない」理由の中で、ダントツ⑥「高卒後の進路面」が多い。それだけに町内中学校での進路説明会時には、油木高校担当教員が「高卒後の進路面」に特化して説明する必要があるように思われる。また、「油木高校の進路指導や進路実績」を学校ホームページ上でしっかりと紹介していくことも必要である。

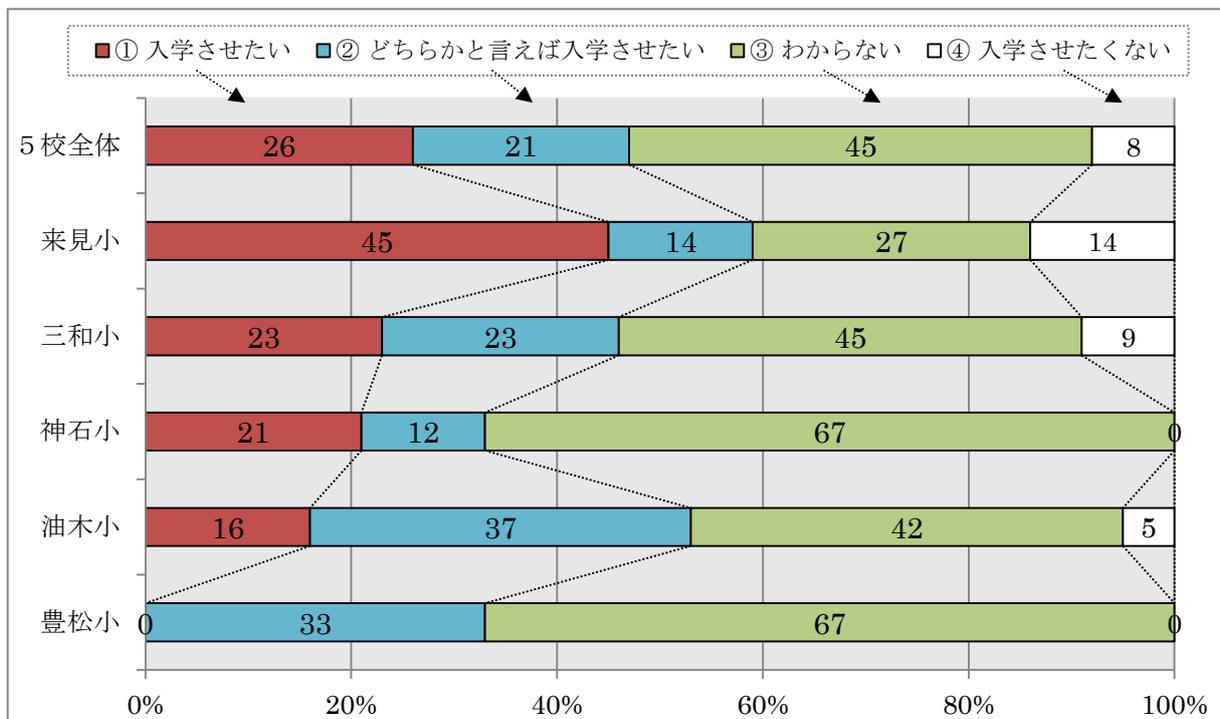
● 各中学校において、油木高校生(特に出身中学生)が頑張っている姿を機会あるごとに後輩中学生に語り頂いたり、直接高校生が中学生に話していく機会(例：高校進路説明会、油高生による進路学習会など)が持てれば、大変効果があると思われる。←(高校は中学校へ随時しっかりと情報提供していく)

## <小・中保護者>

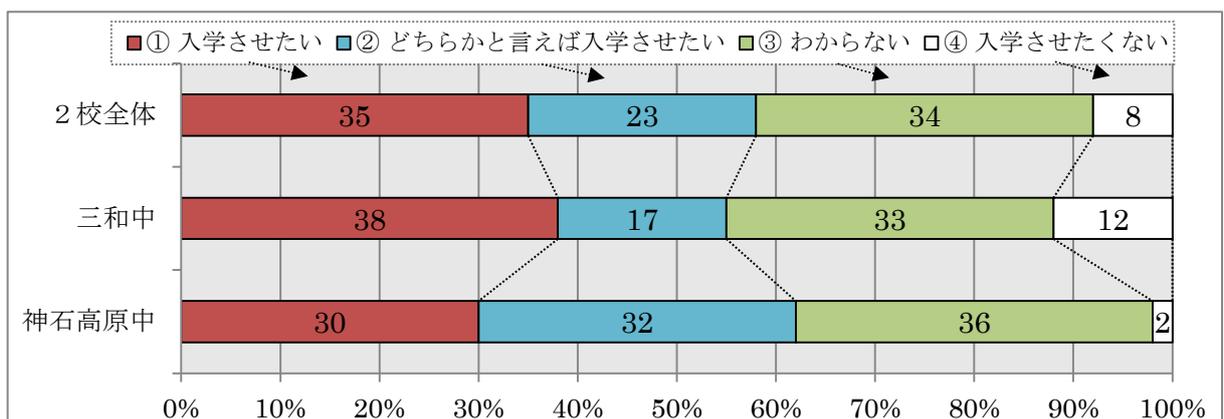
問 (1) あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。



## <各小学校別では>



## <各中学校別では>

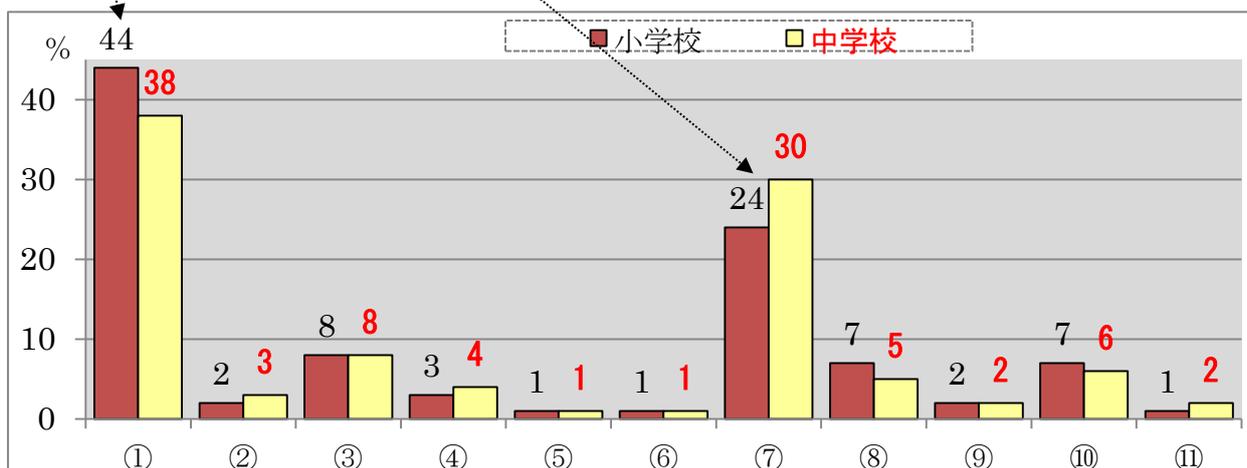


**考察** ・全体としては、「入学させたい」肯定的回答は52%（昨年53%、一昨年53%）で、前年とほぼ同じである。一方、「入学させたくない」は8%（昨年6%、一昨年8%）で、これもあまり大差はない。

- ・小中学校別では、「入学させたい」は中学校が多く、「わからない」は小学校の方が多い。他は小中共に同じぐらいである。これらは高校進学時期の年齢差からくるものと思われる。
- ・各学校別の小学校では、「入学させたい」肯定的回答50%以上が昨年度は4校であったが、本年度は2校（来見小学校59%、油木小学校53%）しかなかった。
- ・中学校において、両校とも「入学させたい」回答率は50%以上であるが、小中学校共に「わからない」の回答が30%台だけに、今後「入学させたい」と思われるような教育実践や魅力づくりに向けて、学校現場と教育行政との両面から努力していく必要がある。

(2) 上記(1)の質問で「① 入学させたい」or「② どちらかと言えば入学させたい」と答えられた方で、その理由と思われるものを下の中から選んでください。（複数回答可）

- |           |                   |             |          |        |
|-----------|-------------------|-------------|----------|--------|
| ① 通学に便利   | ② 進路実績            | ③ 教育内容面     | ④ クラブ活動面 | ⑤ 寮がある |
| ⑥ 施設設備がよい | ⑦ 町の支援（公営塾、海外研修等） | ⑧ 学校や生徒の雰囲気 |          |        |
| ⑨ 家族等の薦め  | ⑩ 友人関係            | ⑪ その他       |          |        |



⑪ その他（小学校）

・長女が油木高卒のため

⑪ その他（中学校）

・産業ビジネス科なら通ってくれそう  
 ・本人の意志が強い  
 ・人間関係の不安があるため  
 ・長女が卒業生のため

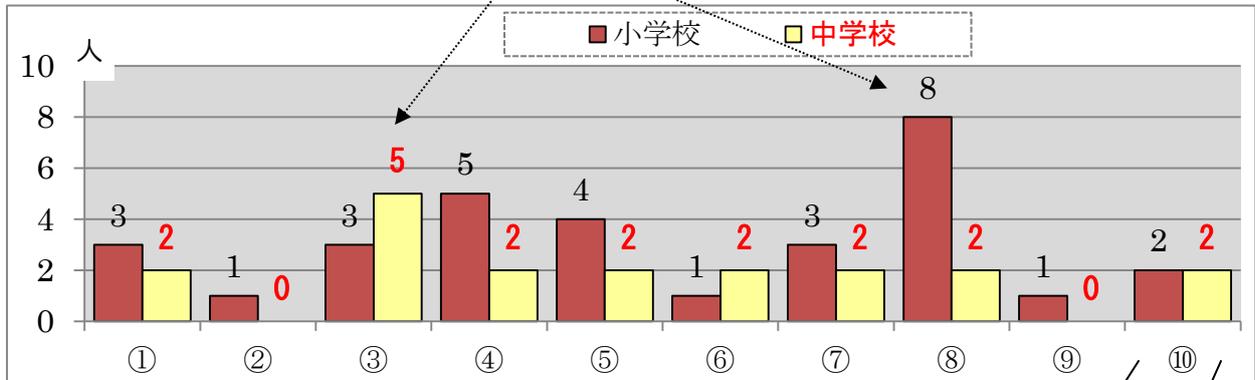
**考察** ・小学校と中学校を比較した時、ほとんど同じような傾向といえる。即ち、油木高校を選択する理由は、多いものとして、①「通学に便利」と⑦「町の支援」の二つが際立って多かった。

これらのことから、保護者に受け入れられている「町の支援」はできるだけ継続しながら、費用対効果が高くなるように中身の充実を図っていかねばならない。また、「通学便」もかなり重要度が高いが、アンケートの回答の中で、「油木高校へ行きたくない」理由（次ページ）として、バス便が少なくなったり、運賃の値上がりを不安視されている保護者が多かった。

これらのことから町としてできる支援策を今後においても検討しながら、油木高校の魅力アップにつなげていく必要がある。

(3) 上記 6(1) の質問で「④ 入学させたくない」と答えられた方は、子どもさんの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。下の中から最も重要視したいものを2つ選び、該当番号に○印をしてください。

- ① 通学の便    ② 伝統や校風    ③ 子ども本人の希望    ④ 学習環境面    ⑤ 教育内容面  
 ⑥ 施設設備面    ⑦ クラブ活動面    ⑧ 進路実績    ⑨ 経費面    ⑩ その他



⑩ その他（小学校）

・バスが無くなってきている。バスも値上がりしてくる。    ・選択肢は多い方がよいから    ・〇〇高校を予定しています。  
 ・校則が法律のような学校。    ・単位制なので

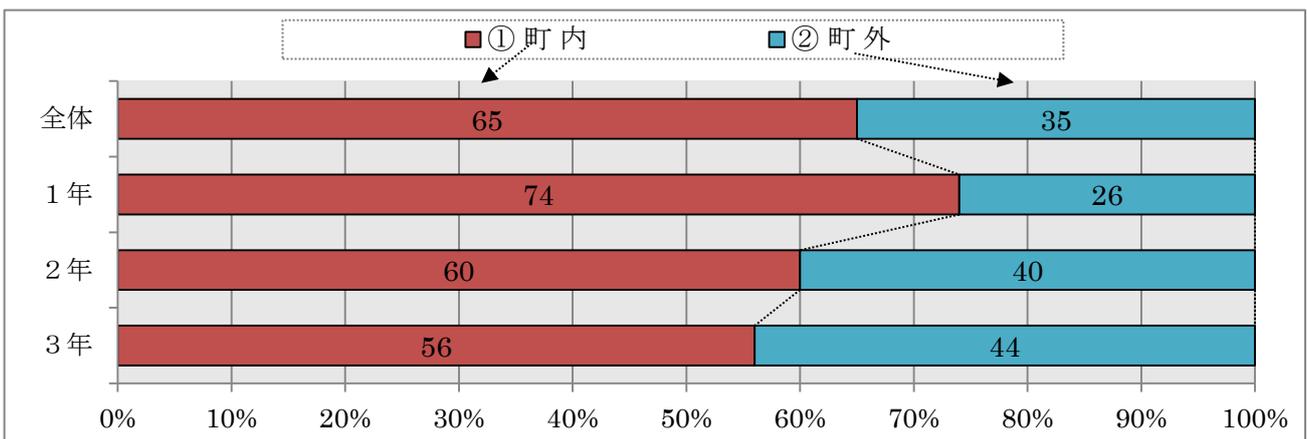
⑩ その他（中学校）

・バス代が上がると聞いたので魅力をあまり感じない。    ・選択肢は多い方がよいから    ・バスがどんどん無くなっていくから（中バスが土曜日が廃止になっている便を復活させて欲しい。特に朝、土曜日部活に参加できない。    ・R5年4月、バス運賃が大幅に値上がりするのが非常に辛い。少しでも町から助成があれば助かるのですが。

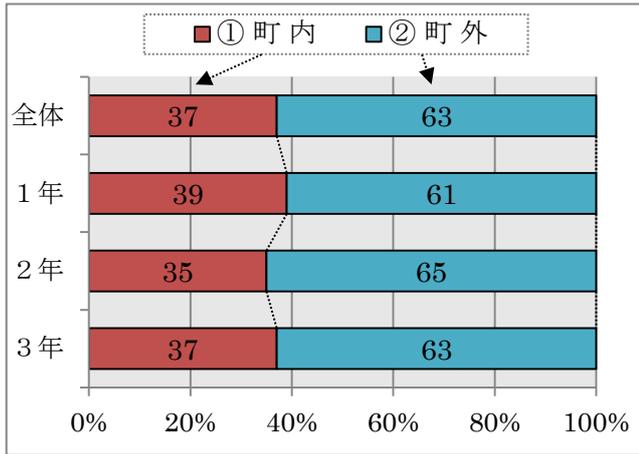
**考察** ・「油木高校へ入学させたくない」と答えられた方が高校進路選択をする上で、特に重要視したいものとして多いのは、小学校保護者でダントツに多いのが⑧「進路実績」で、一方、中学校保護者で最も多いのは③「子ども本人の希望」で、その他はどの項目も極少数である。これらのことから、保護者の多くが「進路実績」や「子ども本人の希望」を最優先される傾向にあり、保護者へは油木高校の進路情報をしっかり提供したり、児童・生徒へは油木高校への興味や関心を高めていく取組みが重要と思われる。

### <高校生>

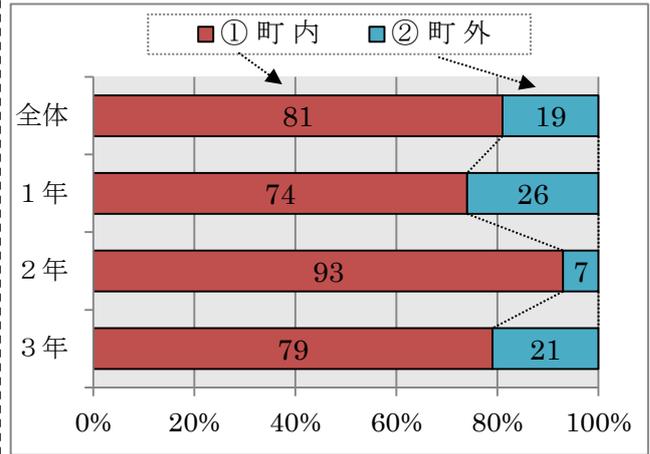
問 あなたの出身中学校は、どちらですか。    < 全体：学年別 >



<学科別：産業ビジネス科>



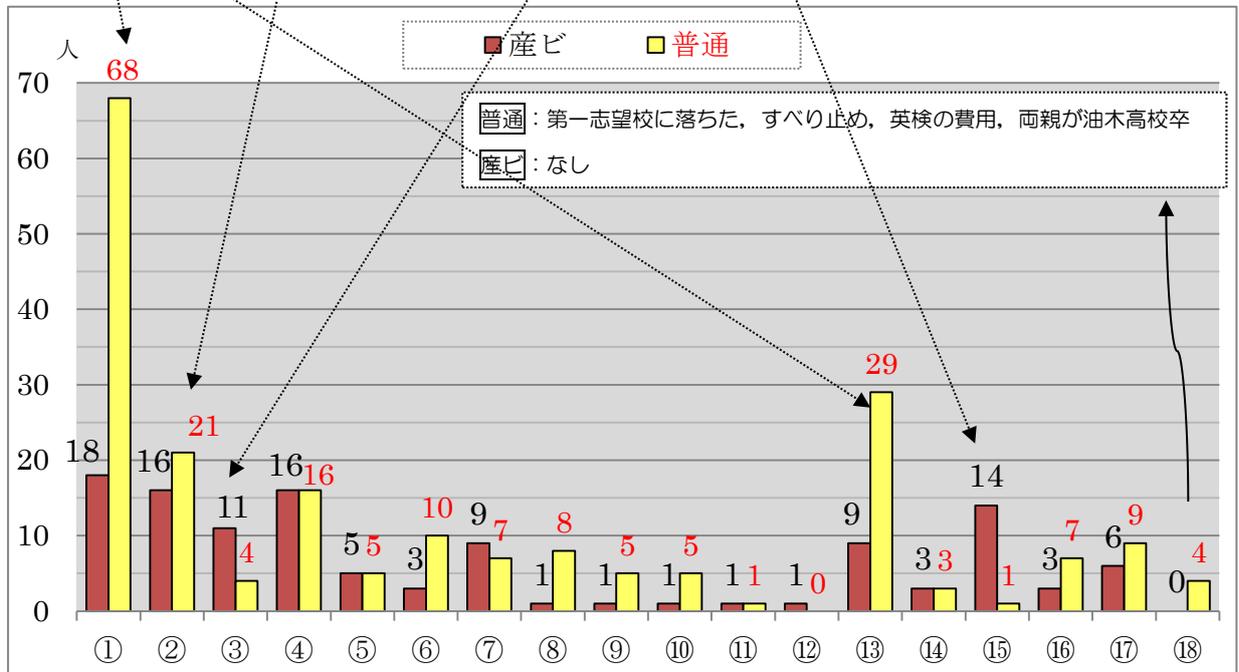
<学科別：普通科>



**考察** ・全体的には、6.5対3.5で町内生徒が多いが、学科別で見ると、産ビ科の町外生徒が63%と断然多い。しかし、中高一貫教育校になる前（H26年度以前）は、普通科への町外入学生徒はほとんどいなかったが、年によって数の増減はあるものの、本年度は1年生10人、2年生3人、3年生6人が通学している。

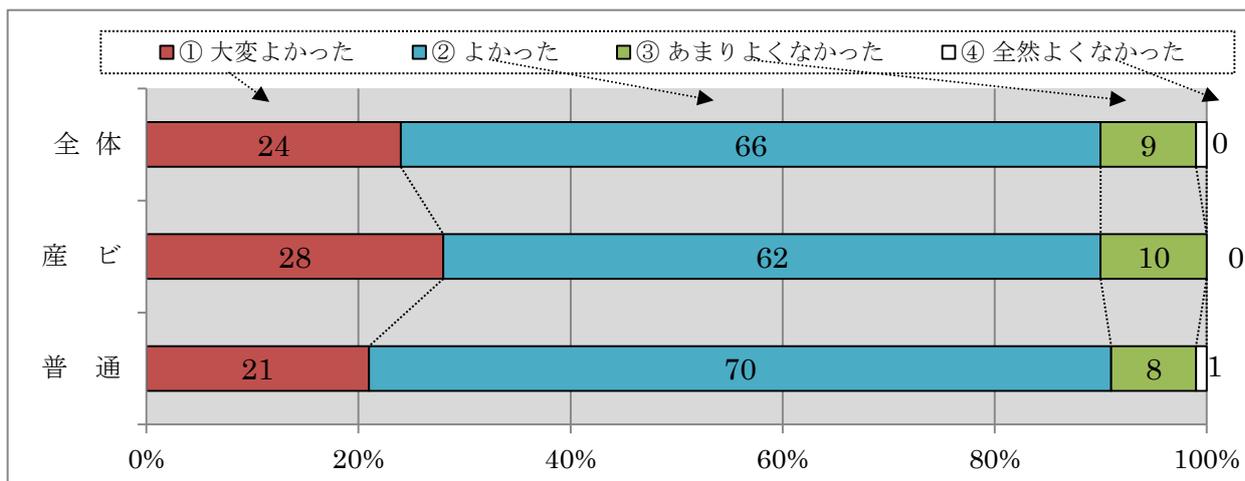
**問** あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。下の①～⑱から該当するものを全て選んでください。（複数回答可）

- |                 |                  |                 |            |
|-----------------|------------------|-----------------|------------|
| ① <u>自宅から近い</u> | ② <u>親・家族の薦め</u> | ③ <u>先生の薦め</u>  | ④ 自分の希望    |
| ⑤ 教育内容面         | ⑥ 部活動面           | ⑦ 寮がある          | ⑧ はやぶさ塾がある |
| ⑨ 放課後神ゼミがある     | ⑩ 海外研修がある        | ⑪ 進路実績          | ⑫ 評判       |
| ⑬ <u>友人関係</u>   | ⑭ 経費が安い          | ⑮ <u>学科への興味</u> | ⑯ 通学費の補助   |
| ⑰ 兄弟が通学している     | ⑱ その他（ ）         |                 |            |

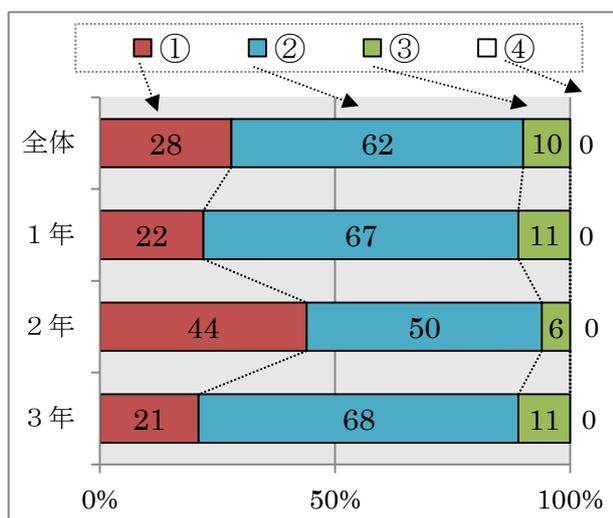


**考察** ・全体的に多いのは、①「自宅から近い」や⑬「友人関係」、そして②「親・家族の薦め」であった。  
・学科ごとで特徴的なのは、普通科では①「自宅から近い」⑬「友人関係」、そして、⑧～⑩の町の具体的支援を選んだ生徒が産ビ科よりもかなり多く、産ビ科では⑮「学科への興味」③「先生の薦め」が普通科と比べて多いのが特徴である。

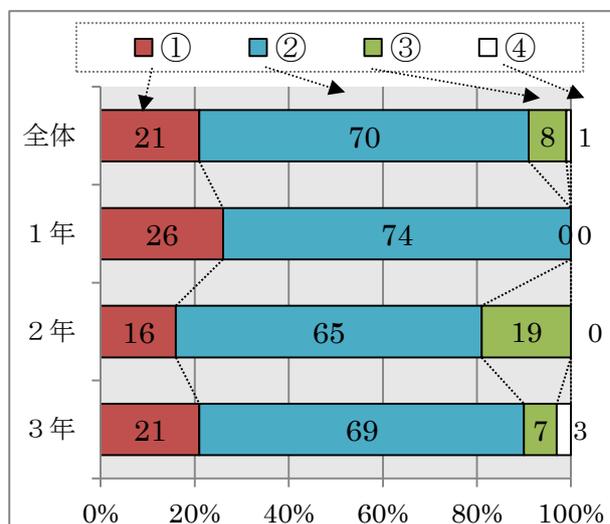
問 あなたは油木高校へ進学して、どうでしたか。



< 産業ビジネス科 >



< 普通科 >



**考察** ・全体では、例年と同様に多くの生徒（90%：昨年91%）が「よかった」と肯定的回答をしている。  
 ・学科ごとでは、「大変よかった」とする者が、産ビ科全体で28%（昨年34%）、普通科は21%（昨年21%）であった。反対に「よくなかった」とする否定的回答をしている生徒は、産ビ科10%（昨年6%）、普通科9%（昨年11%）であった。その中で、「全然よくなかった」とする生徒は、普通科に1%（1人）であった。  
 ・学年、学科ごとでは、1年生の普通科が肯定的回答「よかった」が100%であった。昨年度との経年比較をしてみると、産ビ科3年の肯定的回答は（昨年88%→89%）、同じく2年生は（昨年94%→94%）、一方、普通科3年生は（昨年91%→90%）、2年生は（89%→81%）という回答率であった。